

地域活性化に資する
志津見ダム貯蔵酒試行計画（案）

平成 28 年 9 月

飯南町

目次

1. 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 事業主体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3. 志津見ダム貯蔵場所及び貯蔵本数・・・・・・・・	1
4. ダム貯蔵酒試行内容と期間・・・・・・・・・・・・	1
5. ダム貯蔵酒試行評価・・・・・・・・・・・・・・・・	2
6. ダム貯蔵酒試行のスケジュール・・・・・・・・	3
7. 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会による報告・意見・・・・・・・・	3
8. 志津見ダム貯蔵酒の事業計画・・・・・・・・・・・・	4
別紙ー1 アンケート調査（案）	
別紙ー2 志津見ダム貯蔵酒試行スケジュール	
別紙ー3 志津見ダム貯蔵酒の都市・地域再生等利用区域の指定事業計画及び スケジュール	
別紙ー4 「志津見ダム水源地域ビジョン」の基本理念とアクションプラン	
別紙ー5 「志津見ダム水源地域ビジョン」とダム貯蔵酒“治酔”	

1. 目的

平成 24 年度に作成された「志津見ダム水源地域ビジョン」に位置付けられた“水源地域の活性化”をテーマとするアクションプランの一つである「特産品の開発」の一環として、飯南町内で製造しているお酒をダム内に貯蔵し、そのダム貯蔵酒（以下“治酔”という）が多くの方に広まることによることで、地域の地名度アップによる観光客の増加や“治酔”販売による地域還元などから地域活性化に寄与するかについて試行する。

2. 事業主体

飯南町（担当課：地域振興課）

赤名酒造（酒造、販売担当）

3. 志津見ダム貯蔵場所及び貯蔵本数

(ア)貯蔵場所：ダム施設右岸端部内

(イ)貯蔵本数：500 本

(ウ)占用面積：7.5m²

4. ダム貯蔵酒試行内容と期間

“治酔”が地域の活性化に寄与するための目的の実現に向けた試行し、その実現可能性を検証する。

試行期間：H28 年 10 月～H30 年 12 月

(ア)地域を元気にするお酒【地域活性化】

① “治酔”の販売

1. 販売先や販売時期及び販売本数については、地域の地名度アップ、地域への観光客数増加などの地域の活性化に大きく関わるため、ダム貯蔵酒の試行で最も地域の活性化に寄与する方法を確かめる。

〔期間〕2 年間

② 地域還元

1. 志津見ダム水源地域ビジョンへの協力

志津見ダムを活かした水源地域の自立的・継続的な活性化のために水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で実

施するアクションプランに協力する。

(ア)フラワーバレーに花壇等を設置【水源地域の景観形成】

(イ)清掃活動【水源地域の景観形成】 など

(イ)おいしいお酒【品質】

① “治酔”の品質

1. 貯蔵場所の調査（気温・湿度）

貯蔵場所であるダム施設右岸端部が酒の貯蔵に適した環境かどうか調査する。

〔内容〕 気温・湿度計の設置及び計測

〔期間〕 約 2 年間

2. 貯蔵期間とお酒の味（品質）

お酒の味（品質）は、夏の暑い時期を越して貯蔵すると味が変化すると一般的に言われているため、夏の時期に貯蔵しないお酒、夏の時期も貯蔵するお酒に分けて、最もお酒が美味しくなる貯蔵期間を試行する。

〔内容〕 貯蔵期間：①6 ヶ月（10 月から翌年 3 月末）及び

②1 年（10 月から翌年 9 月末まで）

〔期間〕 2 年間

5. ダム貯蔵酒試行評価

(ア) “治酔”の地域活性化へ寄与するかの評価を行う。

① アンケート調査

ポピー祭、コスモス祭で“治酔”が地域活性化に寄与するかについて評価するために必要なアンケート調査を実施する。

（別紙ー1 アンケート調査（案） 参照）

② 地域貢献

“治酔”の販売状況（売れ行き）による地域への還元内容が地域活性化に寄与するかについて評価する。

③ メディア等の注目度

“治酔”がメディアやSNSでの注目度から地域活性化に寄与するかについて評価する。

(イ) “治酔”の味（品質）の評価を行う。

① 清酒の貯蔵に適した要件

ダム施設右岸端部の気温・湿度を計測し、その計測結果と貯蔵酒の味（品質）を分析し、貯蔵に適した要件を実験により確かめる。

※清酒の貯蔵に望ましいとされている要件

気温：15℃以下が望ましい。

気温変化：±3℃以内が望ましい。

② 官能評価分析

6ヶ月貯蔵と1年貯蔵それぞれの味（品質）を香り、外観、味で評価する。

評価者はお酒の官能評価分析が行える専門的知識を有した人が行う。

6. ダム貯蔵酒試行のスケジュール

ダム貯蔵酒の試行は2年間行い、地域の活性化に寄与できているか1年目と2年目の終了時に事業主体が評価する。

（別紙ー2 志津見ダム貯蔵酒試行スケジュール 参照）

7. 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会による報告・意見

貯蔵場所の環境、官能評価分析及びアンケート調査結果を志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会で報告し、水源地域ビジョンの地域活性化に寄与するかどうかについて意見を頂く。

開催年	評価項目
H28 年度	① ダム貯蔵酒試行内容及びスケジュール等の確認
H29 年度	① H29 年度に販売した“治酔”の品質や販売状況及びアンケート結果等の報告 ② 貯蔵場所の環境評価 ③ 地域活性化へ寄与するかの中間評価 ④ 次年度のダム貯蔵酒試行内容の確認
H30 年度	① H28 年度～H30 年度に販売した“治酔”の品質や販売状況及びアンケート結果等の報告 ② 貯蔵場所の環境評価 ③ 地域活性化へ寄与するかの最終評価

8. 志津見ダム貯蔵酒の事業計画

「志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会」の意見に基づき、特産物の開発として地域活性化に寄与するとした結果となった場合、河川管理者より「都市・地域再生等利用区域（準則特区）」の指定を受けるための手続きを開始する。

事業主体である飯南町が河川占用許可を受け、飯南町と酒造会社との間で協定（一定期間の使用契約（試行期間中に検討））を締結する。

（別紙－3 志津見ダム貯蔵酒の都市・地域再生等利用区域の指定事業計画及びスケジュール 参照）

ダム貯蔵酒「治酔」に関するアンケート調査（案）

本アンケート調査は、ダム貯蔵酒「治酔」の試飲者及び購入者の方を対象にご協力をお願いしています。

※問1～3は、試飲した方のみお答えください → 試飲していない方は問4へ

問1 「治酔」の試飲のきっかけは何ですか？ 当てはまるものをいくつでもお選びください。

- | | | |
|--------------------------|----------------|-----------|
| 1. 珍しいので | 2. 美味しそう | 3. 買ってみたい |
| 4. ダム貯蔵酒と通常の日本酒の違いを確認したい | 5. なんとなく（特に無い） | |

問2 「治酔」を試飲してみて、通常の日本酒との“味の違い”を感じましたか？

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. はっきり感じた | 2. なんとなく感じた | 3. 感じなかった |
|------------|-------------|-----------|

問3 今後、「治酔」を自分でも買ってみたいと思いますか？

- | | | |
|--------------------------|-----------|----------|
| 1. 買いたい → （a.自分用 b.お土産用） | 2. 買いたくない | 3. わからない |
|--------------------------|-----------|----------|

※既に「買った」人もここ

※以下は、全員がお答えください

問4 ダム貯蔵酒「治酔」があることを知っておられましたか？

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問5 地域の特産品としての可能性を感じますか？

- | | | | |
|---------------|------------|-------------|----------|
| 1. 非常に可能性を感じる | 2. 可能性を感じる | 3. 可能性を感じない | 4. わからない |
|---------------|------------|-------------|----------|

問6 「治酔」を貯蔵した“志津見ダム”を見に行ったことはありますか？

- | | | | |
|---------------|------------|------------|-----------|
| 1. 見に行ったことがある | 2. 見たことはある | 3. 見たこともない | 4. 初めて知った |
|---------------|------------|------------|-----------|

問7 「治酔」に対するご意見など、ご自由にお書きください。

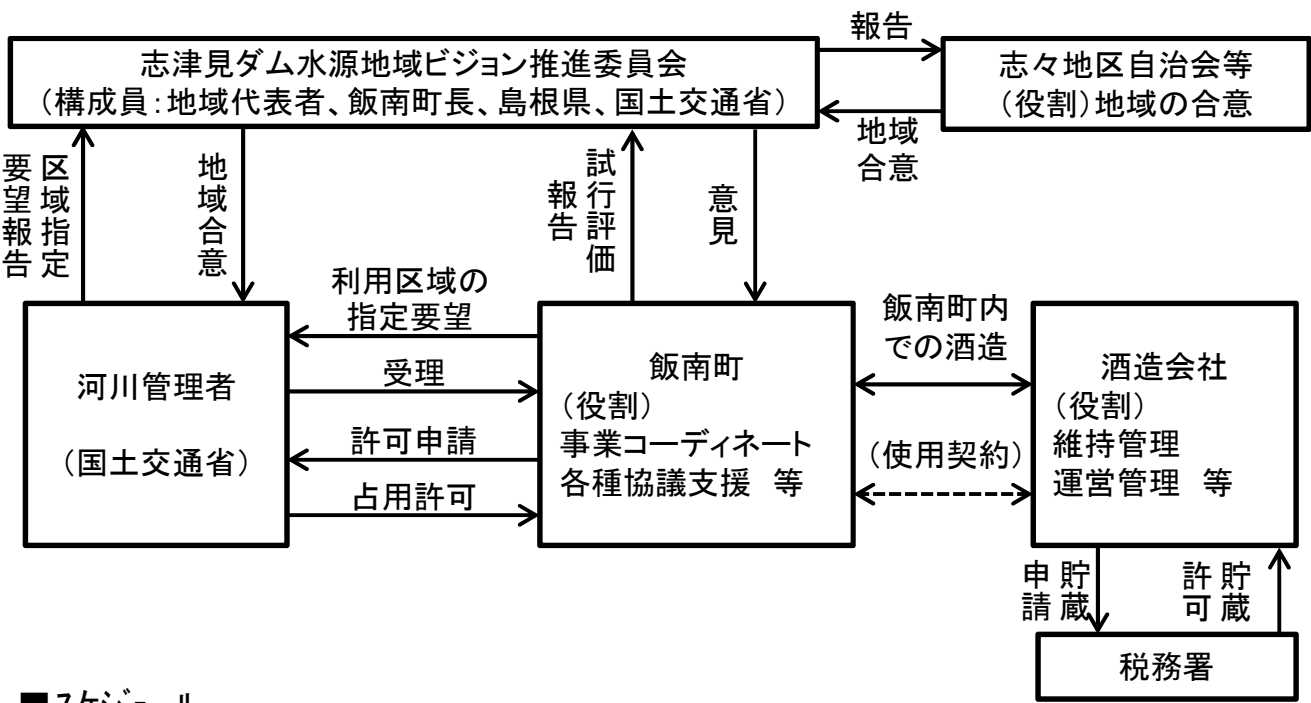
問8 最後に、あなた自身についてお答えください。

性別	1. 男性 2. 女性	年齢	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上
居住地	1. 飯南町 2. 出雲市 3. 雲南市 4. 松江市 5. 大田市		
	6. その他（（〇〇県〇〇市など） _____ 都・道・府・県 _____ 市・区・町・村）		

～ ご協力ありがとうございました。～

志津見ダム貯蔵酒の都市・地域再生等利用区域の指定事業計画及びスケジュール

■事業計画



■スケジュール

実験項目	H30年度									H31年度				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
飯南町	ダム貯蔵酒試行													
				試行評価										
						利用区域の指定要望		河川占用申請		河川占用開始				
酒造会社										税務署許可申請				
											貯蔵開始			
河川管理者						受理								
							利用区域の指定							
								公表		河川占用許可				
水源地域ビジョン 推進委員会							地域の合意							
								評価に対する意見						

「志津見ダム水源地域ビジョン」の基本理念とアクションプラン

基本理念

志津見ダム水源地域では、志津見ダムをはじめとした様々な地域資源を活かし、地域に暮らす人々が自らの幸せな将来のために力をあわせて、流域全体と連携しながら地域の活性化を進めていくこととします。

基本方針 1

美しいふるさとづくり

歴史と文化に彩られた神戸川水源に広がる豊かな自然を守りつつ、志津見ダムによる新たな風景を活かしながら、みんなが暮らす美しい里山環境の形成を図ります。



志津見大橋から望む東三瓶フラワーバレー

基本方針 2

明るく元気で豊かなふるさとづくり

志津見ダム周辺に整備された施設をはじめ伝統・文化などの地域資源や、地域の農林水産業などを活かし、みんなが明るく元気に暮らせるような活力向上を目指します。



うくす茶屋

基本方針 3

人が集まるふるさとづくり

神戸川の水で結ばれた地域の人々や、志津見ダム周辺を訪れる人々みんなが集い、語り、楽しめるような「場」や「しくみ」、「魅力」づくりを進めます。



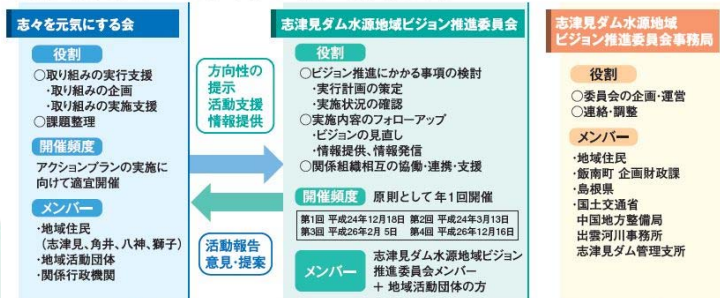
やまめの溪「じゃぶじゃぶ池」でのやまめのつかみ取り

地域の目標像

みんなでつくる みんなのふるさと
笑顔あふれる しあわせの里

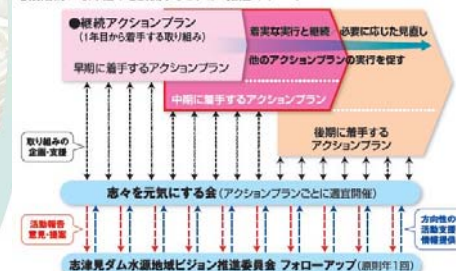
1 推進組織

志津見ダム水源地域ビジョンは、以下の組織により着実に円滑に推進します。



2 推進方法

Ⅱ段階的に取り組みを展開するビジョン推進のイメージ



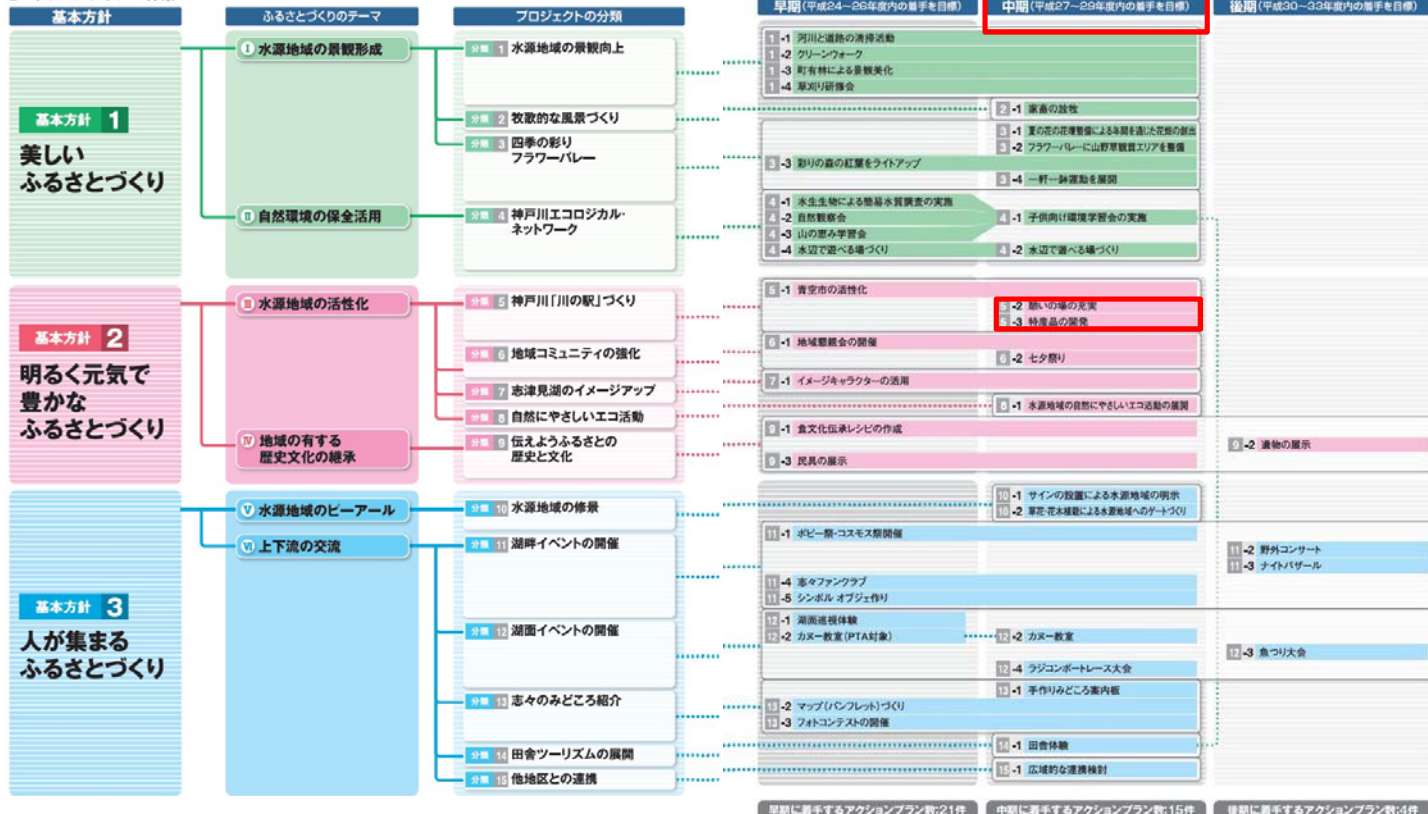
1 アクションプランの進め方

「志々を元気にする会」が中心となって、早期及び中期、後期のアクションプランを段階的に展開していきます。

2 フォローアップの実施

推進委員会は、「志々を元気にする会」から、活動内容や課題などの報告をうけて、年度毎に「目標達成状況のチェック」、「効果」、「水源地域の満足度」等を確認し、必要に応じて「ビジョンの修正、追加」をする等のフォローアップを行います。

Ⅲアクションプランの体系



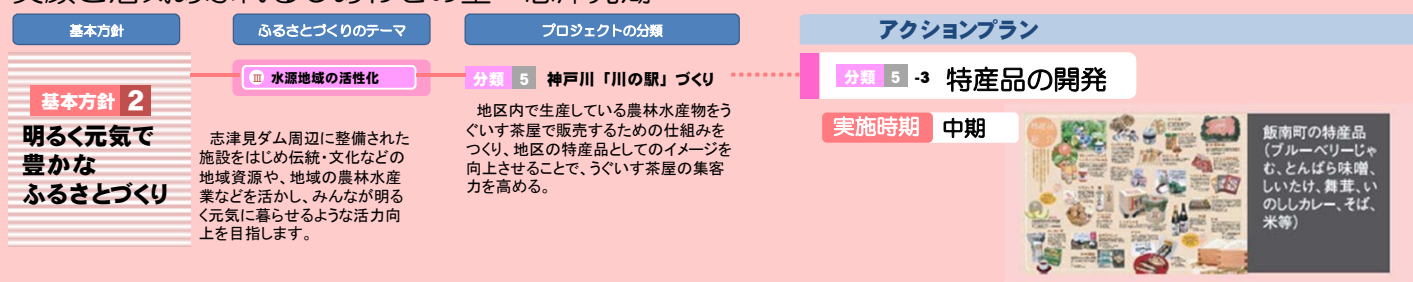
「志津見ダム水源地域ビジョン」と貯蔵酒

志津見ダム水源地域ビジョンは、今後の地域活性化の方向性をより具体化し、地域の更なる発展に寄与することを目的としています。基本理念と地域の目標像を掲げ、3つの基本方針を定めています。基本方針に基づき、39のアクションプランを実施していきます。

志津見ダム貯蔵酒は、平成26年度のビジョン推進委員会にて、ダムの中が酒の貯蔵に適している報告を受け、アクションプラン「特産品の開発」として実施していくことが決まりました。

その後、ラベルデザインの検討、貯蔵酒に関する酒税法関係の手続きなどを経て、貯蔵することが可能となりました。

笑顔と活気あふれるしあわせの里～志津見湖～



志津見ダム水源地域ビジョンは、「志々を元気にする会」が中心となって、アクションプランを段階的に着手していきます。「推進委員会」は、「志々を元気にする会」から、活動内容や課題などの報告をうけて、年度毎に『目標達成状況』、『効果』、『水源地域の満足度』等を確認し、必要に応じて『ビジョンの修正、追加』をする等のフォローアップを行います。

1 推進組織

志津見ダム水源地域ビジョンは、以下の組織により着実かつ円滑に推進します。

